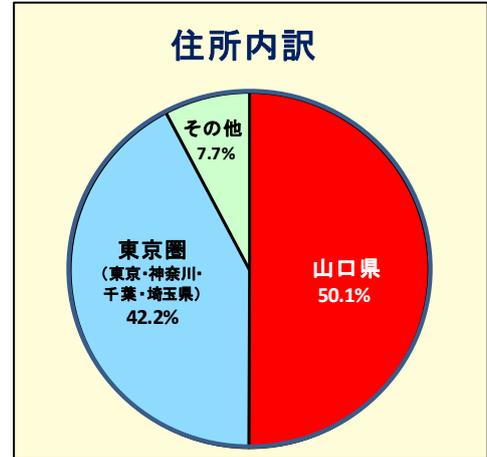


山口宇部空港 東京（羽田）線 利用状況調査の概要

（1）回答者属性

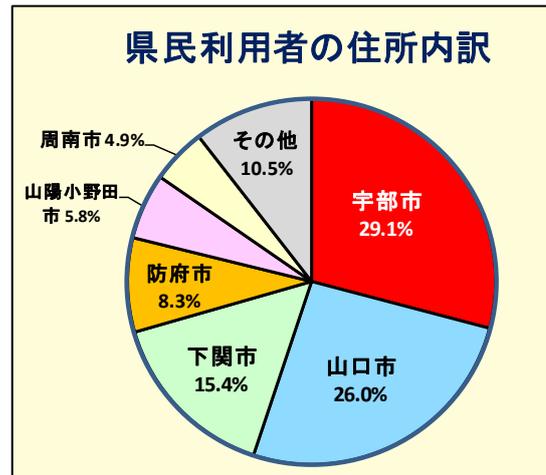
①利用者の住所

- ・ 県民利用者と県外利用者でほぼ半々の比率。
- ・ 県外利用者の大部分を東京圏（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）で占めている。



②県内利用者の市町別内訳

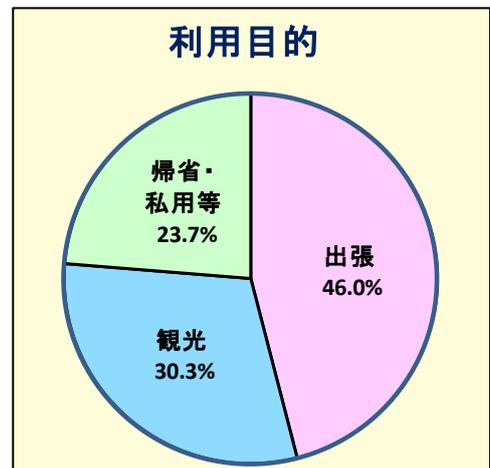
- ・ 宇部市（29.1%）、山口市（26.0%）の2市で半数以上を占めている。
- ・ 次いで多いのは、下関市（15.4%）。



（2）東京便の利用状況

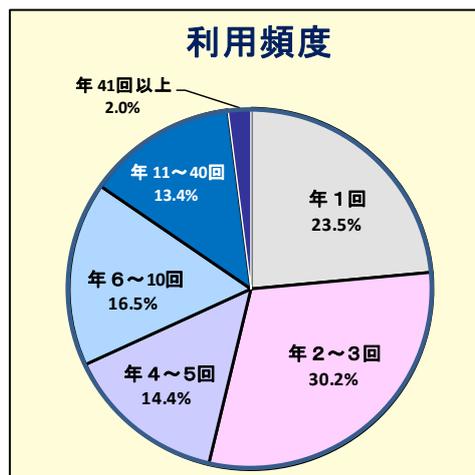
①利用目的

- ・ 「出張」目的が半数近く（46.0%）を占め、「観光」が30.3%、「帰省・私用等」が23.7%。



②利用頻度

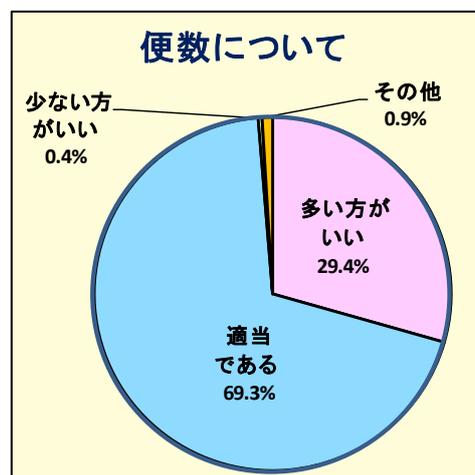
- ・ほぼ月1回ペース以上で利用するヘビーユーザーは約15%と少なく、年3回以下の利用者が5割以上を占めている。



(3) 便数、ダイヤについての意識

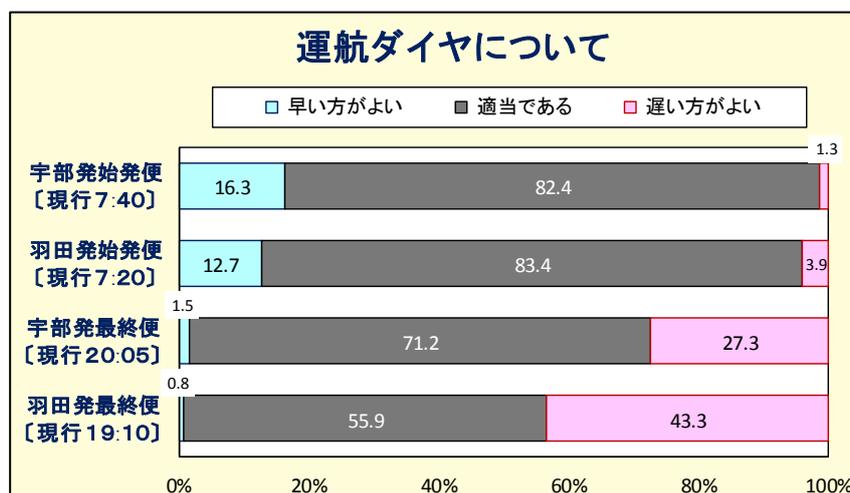
①便数について

- ・便数(10便)について、「適当である」が約7割を占めた。



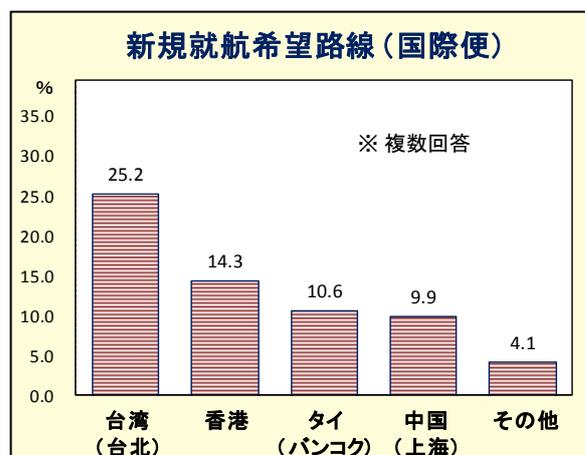
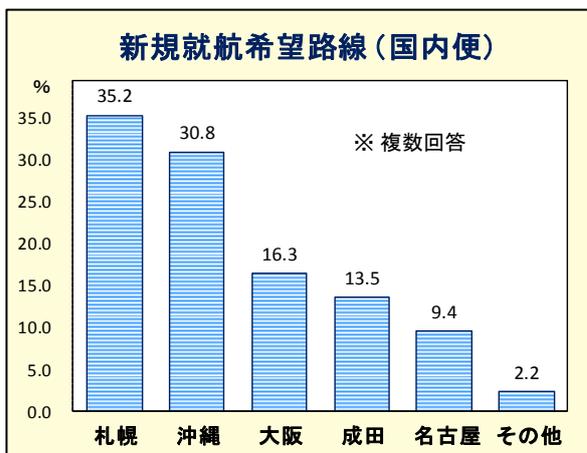
②運航ダイヤについて

- ・始発便については、宇部発、羽田発ともに「適当である」との回答が8割以上を占めている。
- ・最終便については、始発便と比べて「適当である」との回答が少なく、特に羽田発最終便について「遅い方がよい」との回答が多い。



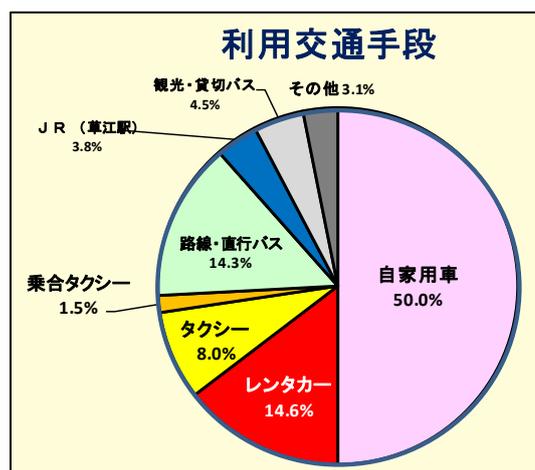
(4) 新規就航希望路線

- 国内線では「札幌」「沖縄」、国際線では「台湾（台北）」が比較的多い。



(5) 利用交通手段

- 「自家用車」利用が5割（50.0%）を占めている。続いて「レンタカー」（14.6%）、「路線・直行バス」（14.3%）となっている。



(6) 空港駐車場について

- 「自家用車」利用者の26.5%が、「混雑しており対策が必要」と回答している。

